

中部保健所管内 感染症発生動向調査情報

2025/1/27

～

2025/2/2

発 令 中 の 注 意 報	県 全 体	〈警報〉		〈注意報〉	
		なし		インフルエンザ	
		警 報	中 部 保 健 所：なし 北 部 保 健 所：インフルエンザ 那 覇 市 保 健 所：インフルエンザ 南 部 保 健 所：インフルエンザ、水痘		
		注 意 報	中 部 保 健 所：インフルエンザ		

△全国で麻しんの発生が続いています！

昨年より本州全域で継続的な麻しんの発生報告があります。

旅行先の発生状況等をご確認いただき、
帰沖後も体調の変化に十分に留意ください。

[リンク：「麻しん（はしか）」の感染事例が報告されています！（沖縄県中部保健所HP）](#)



沖縄県衛生環境研究所（感染症情報センター）作成

『麻しん（はしか）』に気を付けましょう

麻しんウイルスの感染によって起こります。感染力が強く、飛沫・接触感染に加え、『**空気感染**』もあるため、手洗い・マスクのみでは予防できません。**予防接種が最も有効な予防方法です。**

○**主な症状**：発熱、咳、鼻水、眼球結膜の充血、めやに、発疹

○**経過**：感染後、約10日間の潜伏期間を経て発症します。38℃前後の発熱、咳、鼻水、めやになど、風邪のような症状（カタル症状）がみられます（**カタル期**）。発疹出現の1～3日前に頬の内側に白い小さな斑点（コプリック斑）がみられ、発熱は2～4日続いた後、いったん解熱します。その後、再度発熱し、それとほぼ同時に発疹が出現します（**発疹期**）。発疹は数日で茶色の色素沈着を残して消失し、解熱します（**回復期**）。

○**定期予防接種対象者**：

第1期：1歳～2歳未満。1歳になったらできるだけ早めに受けましょう。

第2期：小学校就学前の1年間（5～7歳未満）

■ 感染症の発生動向 1 類～5 類（全数把握）

		県全体	うち中部
1 類	なし		
2 類	結核	8	0
3 類	腸管出血性大腸菌感染症	1	0
4 類	なし		
5 類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	1
	後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）	2	0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	0
	侵襲性肺炎球菌感染症	3	1
	梅毒	2	1
	百日咳	2	0

■ 感染症の定点当たり報告数

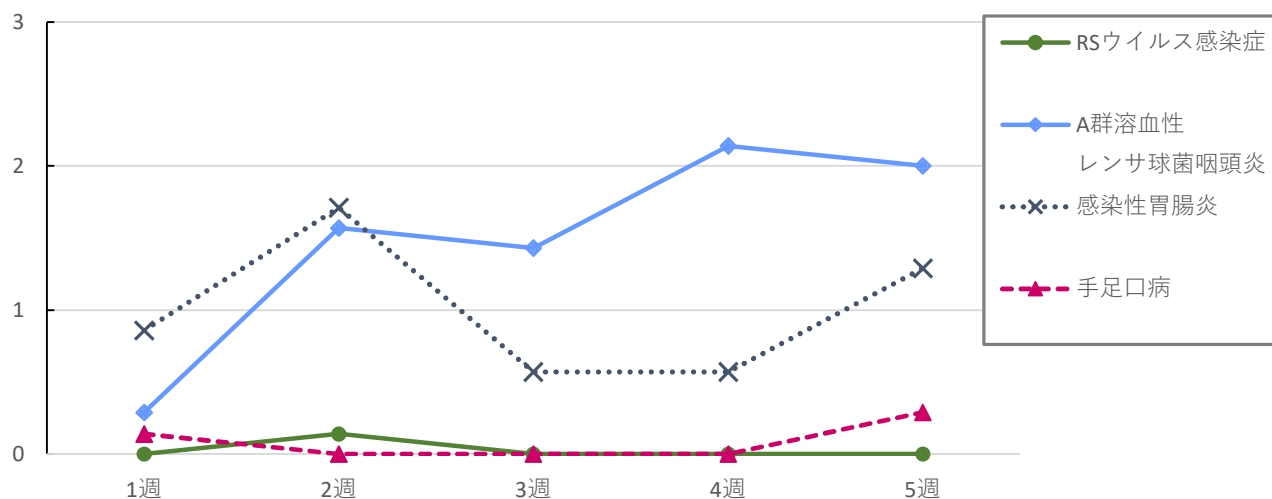
※直近 5 週間で報告された感染症のみ

	1週		2週		3週		4週		5週	
	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県
インフルエンザ	11.46	23.18	21.31	18.11	20.38	19.78	21.69	16.02	27.23	19.38
RSウイルス感染症	0.00	0.04	0.14	0.32	0.00	0.12	0.00	0.08	0.00	0.08
咽頭結膜熱	0.00	0.08	0.43	0.68	0.29	0.16	0.71	0.32	0.14	0.28
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.29	1.32	1.57	1.28	1.43	1.56	2.14	1.40	2.00	1.92
感染性胃腸炎	0.86	4.00	1.71	3.60	0.57	3.88	0.57	5.08	1.29	3.96
水痘	0.57	1.00	1.71	0.88	0.29	0.28	1.29	1.00	0.71	0.96
手足口病	0.14	0.32	0.00	0.12	0.00	0.00	0.00	0.04	0.29	0.08
伝染性紅斑	0.00	0.12	0.57	0.36	0.14	0.04	0.43	0.16	0.43	0.24
突発性発疹	0.14	0.24	0.29	0.24	0.00	0.04	0.43	0.20	0.14	0.20
ヘルパンギーナ	0.00	0.08	0.00	0.00	0.00	0.12	0.00	0.04	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	0.00	0.00	0.00	0.04	0.00	0.04	0.00	0.00	0.00	0.08
流行性角結膜炎	1.50	0.56	1.50	4.33	0.50	3.22	0.50	3.11	0.50	1.67
無菌性髄膜炎	0.50	0.29	0.00	0.00	0.00	0.43	0.00	0.14	0.00	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0.00	0.00	0.00	0.14	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00
COVID-19	0.54	1.00	0.31	0.33	0.46	0.67	0.46	0.58	0.77	0.87

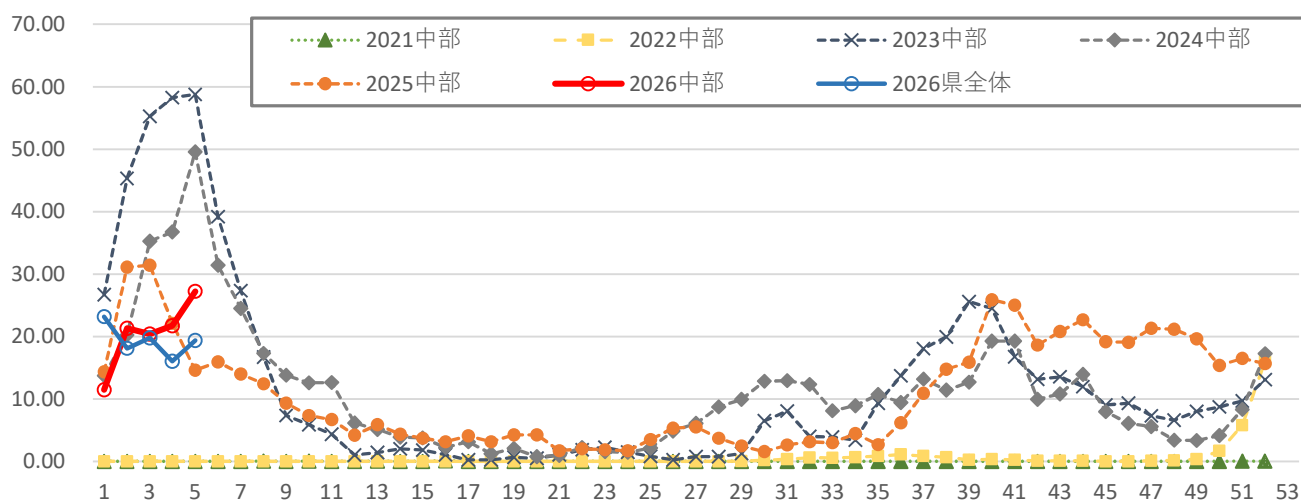
警報

注意報

■ 中部保健所管内の直近5週間の主な感染症の推移（10万人当たり患者数）



■ インフルエンザの過去5年の発生動向



■ 新型コロナウイルス感染症

